

森友・加計…政治の「私物化」…ヽ(*'口'*)ノゾミ☆ケンカラソ!!

流山市でも疑惑!? 浮上

議案は適法一断言できず

9月11日、流山市議会総務常任委員会が開催され、市長、副市長らも出席し、質疑が行われたものの、議案が『全会一致で継続審査』という異例の事態がきました。

議案は、市内新川耕地に建設中のスポーツフィールドをめぐり事業者との契約を当初2億7千万円余に、追加工事分約3750万円を増額（事業完成は3カ月ずれ込む）するというもの。委員会質疑では、日本共産党のいぬい紳一郎市議が、「現地を事前に確認したが、議会の議決前に工事がすでに実施されている」と指摘し、「この議案は適法なのか」と追及。契約担当の総務部長は「契約変更に伴う議決後に工事着手すべき」と不備を認め、

市長は「議決前の工事は通常あつてはならない」とし、議案が適法かどうかについても「回答できない。調べさせてほしい」と答弁しました。また、市長に対する『執行伺い』の決済1ヶ月前に、当初計画を超える9500m³の土砂の無償提供・追加搬入が部内で決済され、市長決済の3日前に土砂の全量搬入が終了するという行政手続き上の問題点も浮上しました。

経過や事実関係など調査を約束

ある市議は、「忙しかった」との理由で議会への説明を欠いた行政の姿勢を批判しつつ、

「北千葉事業団の職員は「流山市のある幹部から言われたら断れない」という話を担当部は認められた。そ

の幹部は議員にも議案への賛成を働きかけている」と

驚くべき内容を指摘。市長は「経過、事実関係等を調査



(上)

地上からの高さ4mから9mへ引き上げられた防球ネット



(下)

奥は旧東葛病院

写真左部分は調整池部分に当初計画以上に土砂を追加搬入した部分。

し、適正で厳正な処置をする」と約束しました。

結局、充分な審査ができないことから「継続審査」となったのです。

グランドの芝生化…夢に!?

そもそも、対象のスポーツフィールドは物流センター建設に伴い移転を余儀なくされ、2016年9月議会には土砂搬入の契約議案が、また同年12月議会では工事施工の契約議案が全会一致で可決しています。

当時の質疑では、敷地内の雨水をためる調整地とスポーツができる広場（水はけがいいように透水管も整備）とは明確に区別され、全市的な整備状況や利用団体の多さから、広場はサッカー等の利用を念頭に整備し、将来的には芝生化の検討も答弁され、早期完成を目指し、議会全体で応援していた事業です。

設計変更・工事費の追加

…いつ、誰が、どんな権限で

ところが、議会の議決後、設計内容が変更され、調整池は貯留量7500m³から60000m³へ20%削減し、その分スポーツ広場にも雨水を貯留することに。芝生化もできず、透水管の役割も制限されます。単なる手続きミスではなく、事実経過の不透明さから政治の私物化が疑われています。

街の灯りを 消さないで



小田桐たかし

市議会議員

しかし市では、補助金審議会からの答申を理由に来年度以降、元の2分の1補助へ減額する方向が市議会で明らかになりました。

小田桐たかし市議は、撤回を求めるとともに、「審議会と市議会の判断はどちらが重いのか」と追究。市は「市議会」と答弁しました。

今議会では、H28年度決算を審査し、議会共通の要望事項をまとめ、次年度以降の予算配分や施策に大きな影響を持つています。

議員総当たりを行い、電気を

代全額補助を継続させよう。
T X 沿線は公費負担
そもそも、なぜ商店街だけ負担を強いられるのでしょうか。自治会防犯灯もH27年～10年間、市の全額補助。T X 沿線は道路照明が多く設置され、全額公費負担です。さらに事業者に請求される法人市民税は県内でもトップクラスの高さです。

商店街街路灯は、街の『灯り』の一つです。ご一緒に声をあげましょう。

商店街街路灯への電気代補助

来年度から減額ねらう

議員各位に働き掛け、全額補助を守ろう

しかし市では、補助金審議会からの答申を理由に来年度以降、元の2分の1補助へ減額する方向が市議会で明らかになりました。

それでも、売り手も・買い手も・地域も「良し」—『3方良し』と商店街街路灯を整備し、毎年の保険料や電気代に自腹を切ってきたのが商店街の各店舗や組合です。

市では、環境改善、経営実態への考慮、そして地域における負担の均等から、H27年度から、LED化された商店街街路灯の電気代補助を「2分の1」から「全額」へ改善。店舗や商店街からは、「大変好評を得てている」と担当課も認めています。



電気代全額補助は好評です

社会経済情勢が伸び悩む中、市内各地域の商店街は、独自の催しや宣伝等に励んでいます。

しかし、後継者不足、厳しい資金繰り等から閉店するお店、今世代で終わりというお店も少なくありません。

それでも、売り手も・買い手も・地域も「良し」—『3方良し』と商店街街路灯を整備し、毎年の保険料や電気代に自腹を切ってきたのが商店街の各店舗や組合です。